

もりかわ通信

令和4年度 第189号
1月26日 発行
岩手河川国道事務所 盛岡出張所
〒020-0862
盛岡市東仙北一丁目11-11
TEL 019-636-0444
FAX 019-636-1047

～御堂観音に参拝してきました～

今年第1号の『もりかわ通信』になります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

盛岡出張所では、毎年年初めに北上川の源泉といわれている「弓弭（ゆはず）の泉」がある「御堂観音」に参拝しています。今年一年の無事故・無災害を祈念するため、今年も1月5日（木）に出張所職員で参拝してきました。正式には「天台宗北上山新通法寺正覚院」という名前のお寺です。このお寺は、岩手町御堂にあり、地元の方々からは「御堂観音」と呼ばれ親しまれています。このお寺の境内に「弓弭（ゆはず）の泉」がありますので、ぜひ参拝しに行ってみてください。

平安時代初期に坂上田村麻呂将軍が祈願所として建立したといわれ、弓弭の泉にまつわる伝説も残されています。



【正式名：天台宗北上山新通法寺正覚院】



【心を込めて・・・】



【岩手町と石巻市を結ぶ記念碑】



【この木の根元の奥から水が湧き出ています。覗き込むと水が流れているのがわかりますよ。】



拡大してみると・・・

～古くから伝わる「弓弭の泉伝説」～

平安時代天喜5年6月、源頼義、義家父子率いる朝廷軍はこの地の豪族・安倍氏を討つため軍を率いて北へと進軍していました。しかし、長く続く炎暑に兵馬とも疲れ果て、士気も上がりませんでした。その際、義家が巨大な杉の木にお祈りをし、手にしていた弓弭（弓のつるをかける先端部分）でその木の根元を突くと、にわかに清水が湧き出てきました。

兵馬ともにぐくぐくとその清水を飲み、みな生き返ったように元気になり、安倍氏を討ち、のちに「前九年の役」と言われる長く続いた戦乱を鎮圧したといわれています。

（岩手町公式HPより抜粋）